



No.2

# わかやま

2000年1月

和歌山県精神保健福祉センターだより

和歌山県精神保健福祉センター

〒640-8319

和歌山市手平二丁目1番2号 県民交流プラザ“和歌山ビッグ愛”2階

電話(073)435-5194 FAX(073)435-5193

## 「精神保健福祉法改正に向けて」

和歌山県福祉保健部健康対策課長

染谷 意

精神保健福祉対策に関する基本的な法律である精神保健福祉法が昨年改正され、一部を除いて平成12年4月から施行されることとなりました。社会福祉構造改革に伴う制度改正と合わせ、精神保健福祉は大きな変化の波にさらされています。

改正において特に変化の大きい、市町村における在宅福祉施策の実施などについては14年度からの施行となっていますが、現在の在宅福祉施策の実施状況や保健福祉資源等の状況を見ると、精神保健福祉に携わる関係者の間でもこの改正は現実を踏まえていないのではないかとの思いがあるのではないかと思います。

制度が大きく変わるわけで、関係者はそれぞれに大変ですが、あらためて確認すべきは誰のため、何のためかということ。すべては精神障害者の方々の人権を確保し、社会復帰を進めるためのものであり、それを踏まえて皆が一致して円滑な施行にむすびつけていかなければなりません。

ところで、法改正への対応においては、障害者、家族、医療・福祉の関係機関、市町村等の関係者の方々それぞれの立場で検討されることと思います。

県においても関係者の方々とは様々な意見交換を重ねて施行に向けた準備を行いたいと考えていますが、一方で、私たち県の担当としては、今後の本県の精神保健福祉の更なる向上を図るためには、平成10年に策定された紀の国障害者プラン実施計画のみならず、精神障害に関するより具体的なものとして和歌山の精神保健福祉の将来ビジョンを作ることが必要ではないかと考えています。

将来ビジョンといった形式はともかく、地域に理解されるための啓発をどのように進めていくか、在宅施策をどのように充実させていくか、医療施設と福祉施設の在り方をどのように考えていくか等について、関係者のみならず一般の方々をも巻き込んだ議論を展開していかなければなりません。

3障害対策の一体化が叫ばれて久しいところですが、現実には精神障害の分野は他の障害にくらべてまだまだ遅れていることは否めません。2000年という年に行われる今回の法改正を、将来ビジョンを作り、今後の精神保健福祉対策を進めていくための絶好の機会ととらえて、幅広い御意見を聴きながら進めていければと考えています。この2000年が、21世紀へ向けての和歌山の精神保健福祉のスタートの年になるよう、皆さんの御協力をよろしく願います。

今回から県下各地域の精神保健福祉資源を紹介していきます。まずは和歌山県の最南端から。

## 古座保健所のごあんない

JR和歌山駅を出て、紀勢本線の特急電車で南下して約90分、ひときわ明るく海岸線が見えてくる。釣りで知られるすさみ町で、いよいよ古座保健所管内に入る。電車は、枯木灘海岸沿いを走り、大島にかかる「くしもと大橋」、名勝橋杭岩を手取るように見ながらほどなく古座町となり、JR古座駅に到着。

古座駅を降りると、すぐそこに田舎ではちょっと目立つ瀟洒な建物がある。青く広がる太平洋と白い波をイメージした、古座保健所である。平成2年に新庁舎が完成し、保健所、福祉事務所のほか旅券窓口事務が行われている。当地方において、住民に最も密着した県の行政機関の一つである。

### ・管内の状況

すさみ町・串本町・古座町・古座川町の4町を管轄している。

面積は、県下8保健所の中で最も広く、約60Km<sup>2</sup>で、管内最遠の地域まで車で約2時間かかる。人口は約33,000人で若年層が少なく、県下で最も高齢化の進んだ過疎の地域である。

## ☆古座保健所管内における精神保健福祉の状況

### 保健所の活動

#### \*デイケア 毎日3回（保健所2回・すさみ町1回）

運動会・クリスマスのイベントは、4町及び家族会も合同で実施している。管内は交通の不便な所であるが、デイケアを心待ちにしている人が多く、参加者は年々増加傾向にあり、平成10年度ではべ300余名の方が保健所デイケアに参加した。

#### \*家族教室

毎年5～6回教室を実施している。

保健所から遠距離のすさみ町へは、出前教室で対応し、最近、家族の念願だった家族会発足につながった。

#### \*地域ですすめるここの健康づくり教室

ボランティア育成事業の一環として、地域で核となる方々に精神保健福祉について、理解を深め、今後の活動に生かしてもらいたいという思いで、民生児童委員等を対象に、管内町を巡回する形で教室を開いている。すでにすさみ町・古座町・串本町で実施した。精神保健福祉をより身近なものとしてとらえてくれるなど、教室の効果は徐々に上がってきている。

#### \*こころの健康相談・酒害相談

精神科医師によるこころの健康相談は毎月2回、酒害相談員による相談は毎月1回それぞれ定例に実施している。

随時、保健婦による来所相談や電話相談も対応している。



古座保健所の外観

### 管内の社会資源

#### 医療機関

\*精神科病院（1）

\*心療内科クリニック（1）

#### 作業所

\*つばさ共同作業所

串本町

\*若あゆ作業所

古座川町

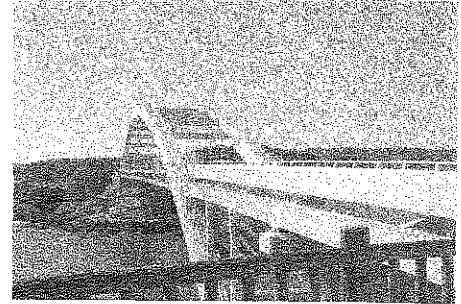
精神障害者だけでなく、知的障害者・身体障害者を受け入れ、地域の受け皿として、また生活の拠点としてその果たす役割は非常に大きい。つばさ共同作業所では、作業だけでなく手話を習うなどみんな生き生きしているのが、大変印象的である。

家族会 \*すさみごんぱち家族会 すさみ町 \*つくしんぼ 串本町  
 \*のぞみ会 古座町 \*若あゆ会 古座川町

家族同士が支え合う場となり、また作業所づくりや地域のイベントへの参加、福祉制度の充実など様々な家族会活動に取り組んでいる。しかし、発足当時若かった家族も高齢化してきており、今後の家族会活動への課題も多い。

断酒会 \*新宮三熊野断酒会  
 例会 毎週火曜日 PM7:00 から

「精神障害者が安心して暮らせる町」を目標に、仲間・家族・地域・関係機関の方々とともに一步一步歩いています。ご指導・ご支援よろしくお願ひします。



くしもと大橋 (1999年9月開通)

(紹介者 古座保健所 保健婦 前田治美)

## 事業報告

### ★平成11年度アルコール関連問題研修を終えて★

去る平成11年9月28日、10月1日の両日、精神保健福祉センターにおいて平成11年度のアルコール関連問題研修が行われました。参加者の状況は表にまとめました。2日間で述べ45名の方が参加されました。

内容は、アルコール依存症の基礎的な概論に始まり、アルコール依存症者への初期介入の方法や生活支援の現状を学び、最後に日頃アルコール依存症者とどのように関わり、どのような点に苦慮するかということについて、意見交換がされた。参加者の中からは「日頃の業務での関わりは少ないが、興味があつて参加した」「アルコール依存症という病気が整理できた」「それでもアルコール依存症は意志が弱いから治らないと思えて仕方がない」「和歌山にはアルコール専門の医療機関もなく援助していく方法も見つからない」などの意見が出されました。

みなさんの意見を今後の研修の参考させていただきたいと思ひます。ありがとうございました。

	PSW	保健婦士	ケアラー	心理士	看護婦士	その他
保健所	4	6				1
福祉事務所			9			4
医療機関	3			1	3	

### ★平成11年度思春期精神保健研修会を終えて★

平成11年11月16、17日の両日に渡り、思春期精神保健研修会を開きました。子どもたちの保健・教育に携わる方々から多数の申し込みがあり、思春期問題への関心の高さ、実際の教育現場での子どもたちへの指導の難しさが窺えました。

開催場所：ビッグ愛会議室(204・1202会議室)

日時	プログラム内容	講師
H11.11.16	思春期電話相談	ハートブレイク思春期保健相談員 福岡珠美
	思春期精神疾患への対応	茨城県潮来保健所所長 荒木均
H11.11.17	不登校と家族	国保野上厚生総合病院神経精神科医長 上野半兵衛
	思春期の子どものこころ	和歌山大学教育学部心理学教室教授 森下正康

参加者（計75名）

保健婦士19名、PSW7名、看護婦士3名、心理職1名、養護教諭21名、教諭5名、  
相談員7名、指導員2名、その他10名

研修アンケートより（65名より回収）

性	
男	17名
女	48名

年代	
20歳代	16名
30	14
40	29
50	3
60	1
不明	2

受講の動機	
テーマに興味を持った	55名
講師に着かれて	15
現実問題対応のため	8
知識を広げたい	4
他からの勧め	3
情報交換	1
その他	1

研修について	
知識ができた	37名
実践に生かしたい	30
リフレッシュになった	21
思考が明確になった	20
充実感を得た	18
問題解決の糸口を得た	7
アイデアが得られた	1
その他	2

## センター研修会のお知らせ

お問い合わせは和歌山県精神保健福祉センターまで

### こころのケア研修

災害や事故による心的外傷の適切な対応やそのケアに関する学習。  
日程などは以下の通りです。

日 時	第1回 2月 3日 (木)	第2回 2月 4日 (金)
9:30~11:30	心的外傷概論と被災者支援 兵庫県精神保健福祉センター 岩井圭司先生	症状評価と診断 東京都精神医学総合研究所 飛鳥井望先生
12:45~14:45	犯罪被害者の心的外傷A (性暴力被害) 未定	犯罪被害者の心的外傷B (毒物被害) 和歌山市保健所 山本耕平先生
15:00~17:00	交通事故における心的外傷 大阪市立総合医療センター 広常秀人先生	こどもの心的外傷 神経科浜松病院 稲川美也子先生

場所：精神保健福祉センター 定員：40名（参加費無料）

## わかやまこころのフェスティバル2000のおしらせ

とき：平成12年3月11日（土）10:00~16:00

場所：プラザホープ（和歌山県勤労福祉会館）和歌山市北出島1-5-47

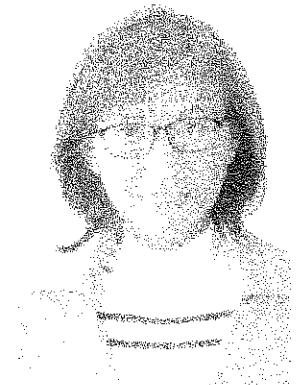
ストリートミュージシャンのライブや和太鼓、精神障害者絵画展、  
100円ショップなど

香山 リカ 講演会：13:00~15:00（入場無料 要整理券）  
『子どものこころに何が起きたか』

香山 リカ 精神科医・神戸芸術工科大学助教授

1960年札幌市生まれ、東京医科大学卒業。精神病理学専門。臨床経験を生かし、  
新聞、雑誌で社会批評、文化批評なども手がけ、テレビゲームなどのサブカルチャーに  
も関心を持ち、現代人の「心の病」について洞察を続けている。

主な著書：「テレビゲームと癒し」「もう『いい人』にならなくていい！」「インターネット  
マザー」「ウェディング・マニアアダイアナあなたの心の落とし穴」など多数。



問い合わせ 県精神保健福祉センター

### 編集雑記

今回から、県下各地域の精神保健福祉資源紹介が始まりました。まずはじめは、古座保健所からです。  
昨年9月にくしもと大橋が開通し、ツアー旅行の場所にも選ばれています。この季節は、大島には  
水仙がきれいに咲いているとか。一度訪れたいものですね。今回初めて「デジカメ」に挑戦してみまし  
た。「画像が良くない」「どこを撮りたかったのかようわからん」等とセンスがないことを理由にいびられ  
ています。なんかいつも言われっぱなしやな……

編集長 M